

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・はがき新聞や日記など、意図的・計画的に書く場面を設定し、句読点や段落構成などを意識させたことで、書く力が身に付いた。
- ・単元を貫く問いを設定した授業を展開したことで、見通しをもった単元学習に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・説明文で、文章と表やグラフ、写真とを結びつけて読み解くことに課題が見られる。
- ・目的や意図をもって話したり、聞いたりすることに課題が見られる。
- ・既習の漢字を使って文章を書くことに課題が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	・目標値より上回っている。	/	/
第5学年	・目標値より上回っている。	・目標値よりやや下回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	・目標値より上回っている。	・目標値よりやや上回っている。 (第5学年時)	・目標値より上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主語、述語などの文の構成については理解している。 ・漢字の書き取りに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を書くことについて、構成に気を付けて書くことができる。 ・段落の要点に着目して読むことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を次の学習に生かそうとする意識に課題が見られる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの配当漢字の書き取りに課題が見られる。 ・文の構成のうち、連用修飾語の扱いについて課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を考えながら、話を聞くことができる。 ・構成に気を付けながら文章を書くことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習自体には進んで取り組むが、生活と結び付けて考えたり、より発展的な考えを出し合ったりすることに課題が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 平仮名や漢字などミニテストやプリント学習を繰り返し行い、定着を図る。 多層指導モデル（MIM）の教材を活用し、視覚化や動作化を取り入れながら言語理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵や叙述を基に読み取る力を育てるために、大事な言葉にサイドラインを引かせる。 理由を付けて話したり書いたりできるように、「理由は～」「～だから」などの言葉を使って話せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の際に、単元を貫く問いを設定したり、発問を工夫したりすることで、見通しをもち、意欲的に学習に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字を使う意識を高めるために、漢字を使った文章を書く機会を計画的に確保する。 慣用句やことわざ、故事成語など、伝統的な言語文化に多く触れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に文章を読み取る力を育てるために、文の種類には、情景描写や問い、事例などの様々な種類があることを理解させる。 内容のまとまりで段落が分かれた文章が書けるよう文章構成表を作成してから書かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを児童が確実に理解し、次の学習に生かしたり、生活と結び付けたりできるように、授業の展開を工夫する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 既習の漢字を使う意識を高めるために、書いた文章を見直すことを習慣化する。 文の構成についての理解の定着を目指し、文法に気を付けて作文を書いたり、互いに読み合って評価し合ったりする。 文章表現を豊かにしたり、語彙力を伸ばしたりすることを目指し、学習した内容をはがき新聞にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や資料、グラフなど、自分の考えを表現する方法を工夫させ、自分の考えが伝わりやすい方法について理解させる。 他の人と考えを比べたり、書いたものを評価し合ったりさせることで、相手や目的を意識して考えを表現する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く考え続けたり、今までの学習を生かして考えをまとめたりできるように、教師からの発問を工夫したり、積極的に他者と関わらせたりしていく。